

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・平成29年度教育費予算
- ・『学習・生活・運動習慣』向上運動
- ・平成28年度読書感想文コンクール
- ・就学援助のお知らせ
- ・厚真町育英資金のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

平成29年度教育予算

総額 5億1,195万円

	主な事業内容	予算額	前年度比較
学校教育	英語教育推進事業や育英資金貸付事業等	76,736千円	△6,028万円
	町内小中学校の校舎維持管理費やスクールバス購入等	117,338千円	△3,794千円
	教育振興推進事業や特別支援教育支援員の配置等	46,079千円	4,207千円
	こども園や小中学校への給食に係る事業費	93,575千円	2,187千円
社会教育	放課後子ども教室開催事業や社会教育事業費	26,558千円	△1,302千円
	埋蔵文化財発掘事業や厚真犬保護事業	18,936千円	△151,781千円
	公民館やマナビィハウスの修繕料や整備事業費	11,224千円	6,286千円
	図書室管理費や青少年センター維持管理費	38,552千円	21,685千円
	創作館の維持管理費や陶芸教室の開催事業費	1,762千円	89千円
	体育行事の運営費等	5,367千円	△72千円
	スポーツセンター等の維持管理費	42,532千円	△11,696千円
	放課後児童クラブ運営及び整備費	33,291千円	1,753千円

厚真町教育振興基本計画に基づく平成29年度の教育事業に関してお伝えします。

学校教育では教育課程特例校の指定を受けての小中学校における英語教育活動の充実、ICT教育の推進、新たな授業づくりの研究、コミュニティ・スクール導入などに関する予算を計上しています。

社会教育では、厚幌ダム本体建設工事に伴い14年間実施してきた埋蔵文化財発掘調査事業の大規模発掘調査が終了することから関連予算が大幅な縮小となっているほか、老朽化の目立つ生活会館やスポーツ施設など社会教育関連施設の改修予算などを計上しています。また、約40年にわたり活躍してきた青少年センター内のプラネタリウムを更新するための予算を新たに計上しています。

平成29年度の教育費の総額は、前年度より約3億4,156万円減の5億1,195万円となっています。

厚真町児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動 展開中！ 平成28年度 ノーゲームデー成功率 31%

ノーゲームデーとは、毎月第1・第3日曜日にゲームを控えることを呼びかけるもので、昨年6月から本年2月までの9か月間取り組みが行われました。長年、電子ゲームをしてきた子どもたちにとっては、大変難しい取り組みだったようですが、いつもよりゲームの時間を減らすことができたお子さんの数も増加傾向にあります。

9か月間のノーゲームの平均成功率は、小・中学生とも全体の31%でした。しかし、「ゲームの時間をいつもより減らした」割合を含めると、小学生は約45%、中学生は約51%の子どもたちが、ノーゲームデーに意識的に取り組んでいたと見られます。

